

国の「脱炭素先行地域」として脱炭素の取組を推進していきます！

「脱炭素先行地域」とは2050年のカーボンニュートラルに先駆けて、2030年度までに事務所や商業施設など施設の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指す地域です。(全国で約100カ所選定される予定)

本市では、みぞのくち駅周辺エリアなどにおいて「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」と連携し、太陽光発電設備設置や、省エネ設備設置、再生可能エネルギーの導入などによりCO2排出実質ゼロに向けた取組を進めています。



環境大臣表彰を表彰！

脱炭素先行地域における先進的な再エネ地産地消の取組

2024年10月に、本市の脱炭素先行地域に参画するヤマト運輸(株)(以下、ヤマト運輸)と川崎未来エネルギー(株)(以下、川崎未来エネルギー)、川崎市の連携により、再エネ電力の理想的な地産地消モデルを実現しました。この取組は、「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞しています。

取組内容 /

ヤマト運輸の「高津千年営業所」において、太陽光発電設備や蓄電池、独自のエネルギーマネジメントシステムに加え、川崎未来エネルギーからの再エネ電力を活用することで、地産の再エネ電力を100%使用する営業所として稼働しています。

さらに、集配用の電気自動車(EV)で活用する再エネ電力は市民の家庭から排出された普通ごみなどの焼却により生み出される地産再エネ(川崎産グリーン電力)であるため、集配を通じて地産再エネが各家庭に循環する仕組みとなっています。

詳細は特設ページをご覧ください▶▶

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000170377.html>

✓川崎産グリーン電力とは...

川崎市内の処理センター(ごみ焼却施設)から生み出される地産の再生可能エネルギーです。

取組の3つの特徴

1

川崎市内の再エネ電力を100%使用！

営業所やEVの全ての電力は、営業所に設置した太陽光発電設備や、川崎未来エネルギーの地産再エネ(川崎産グリーン電力由来)を活用しています。

2

営業所で使用する集配車両全25台を全てEV化！

市内のヤマト運輸の営業所では初の取組です。



3

ヤマト運輸独自のエネルギーマネジメントシステム(EMS)を導入！

営業所内の電力使用量、太陽光発電設備での発電量などをリアルタイムで可視化・自動で調整し、効率的なエネルギーマネジメントを行うことで電力コストの増加を抑制しています。

川崎未来エネルギーとは

川崎未来エネルギーは、地域への再エネ普及・地産地消を推進するための会社です。(令和5年10月設立)

川崎未来エネルギーは主に川崎産グリーン電力を市域に供給しています。自治体为主导する地域エネルギー会社の中では最大級となります。

詳細はこちらから▶▶ <https://kawasaki-mirai-energy.co.jp/>



もっと知りたい方へ



『脱炭素アクションみぞのくち』における事業者・団体等の取組やイベント告知などについて、特設WEBサイトで紹介しています。

詳しく知りたい方はぜひご覧ください！▶▶

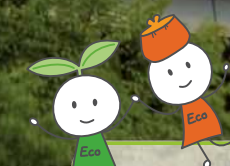
<https://carbon0-mizonokuchi.jp/>



2025年3月発行 お問合せ先：川崎市環境局脱炭素戦略推進室 電話：044-200-3871 Email：30dtanso@city.kawasaki.jp

脱炭素モデル地区

脱炭素アクションみぞのくち



みぞのくちって
どんな
環境にいいことを
しているんだろう？

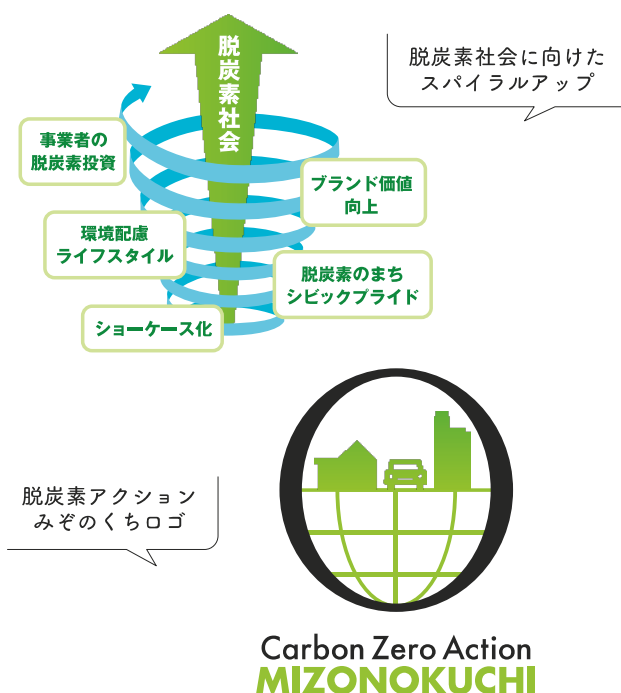
詳しくはリーフレットの中へ！



「脱炭素アクションみぞのくち」とは？



脱炭素社会の実現に向けた川崎市の取組



「脱炭素」とは、地球温暖化の原因である二酸化炭素（CO2）の排出量を可能な限り減らし、排出されたCO2を吸収・削減することにより、実質的にCO2の排出量をゼロにすることをいいます。

川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、2020年2月に2050年のCO2排出実質ゼロを表明するとともに、同年11月に脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、2030年に向けた取組の一つとして、『脱炭素アクションみぞのくち』を創設しました。

高津区溝口周辺地域で脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進し、脱炭素社会の実現を目指します。

事業者・団体 × 行政 でみぞのくちの脱炭素を進めます

溝口周辺地域で脱炭素に取り組んでいる事業者・団体等が集まり「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」が発足しました。さまざまな主体の連携により、脱炭素に関する新しい事業やアイデアの実現を目指していきます。

「脱炭素アクションみぞのくち」をもっと知りたい方へ

「脱炭素アクションみぞのくち」における事業者・団体等の取組やイベント告知等について、特設WEBサイトで紹介しています。

詳しく知りたい方はぜひご覧ください！▶▶ <https://carbon0-mizonokuchi.jp/>



脱炭素アクションみぞのくちの取組をPRしています

まるっとサステナCAMP（インターン）

脱炭素アクションみぞのくちにおける様々な取組を市民の皆様にご覧いただくため、情報発信の取組「まるっとサステナCAMP」を行っています。Z世代を中心に、地域の方で構成する「インターン」が脱炭素アクションみぞのくちの活動をレポートしています。



Instagramなどで情報発信中！

高津区溝口周辺の身近な脱炭素アクションをSNSで随時発信中です。まるっとサステナCAMPのインターンの皆さんが出演し、「実は意外と身近で楽しい脱炭素」を紹介していますので是非ご覧ください。



まるっとサステナフェスティバル

みぞのくち駅前等で地元の皆さんとイベントを開催しています。地元の企業や団体・市民の皆さんと協力して毎年楽しく開催していますので、皆様是非お越しください！

※毎年11月頃に開催

川崎市脱炭素ライフスタイル行動変容促進プロジェクト

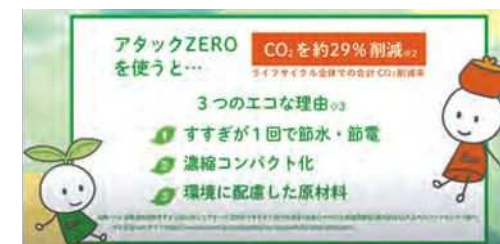
脱炭素アクションみぞのくち推進会議に参加する事業者を中心に、製品・サービスを通して市民生活に接点のある事業者と新たに官民連携し、製造から廃棄までのCO2削減貢献量を「見える化」することで、市民の行動変容を促進していくプロジェクトを令和6年8月に発足しました。

市民・事業者の行動変容によるCO2削減貢献量を「見える化」するコンテンツを事業者と連携して作成、発信していますので、ぜひご覧ください！

＼YouTubeで公開中！／



<https://www.youtube.com/watch?v=YDL9ocUs7E4>



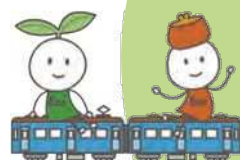
<https://www.youtube.com/watch?v=1h018vR0SUg>

さまざまな 脱炭素アクション がみぞのくちで 広がっています！

電車はクリーンな 移動手段

溝の口駅を通る田園都市線をはじめ、東急線は全線が再生可能エネルギー100%の電力で運行しています。

また、武蔵溝ノ口駅を通るJR南武線では、CO₂を出さないエネルギー「水素」で走る鉄道車両の試験走行が行われています。



商業施設の再生可能 エネルギー100%化も 進んでいます

マルイファミリー溝口及びノクティプラザ全体で、地球にやさしい再生可能エネルギーを100%使用して施設を営業しています。

このほかにも、省エネ・リサイクルなど様々な環境にやさしい取組が行われています！

水素で走る自動車！

CO₂を出さない燃料である水素を使って走る燃料電池自動車（FCV）。梶ヶ谷には、市内3か所しかない水素ステーションがあり、FCVに水素を充填しています。また、高津区役所ではFCVを公用車として活用しています。



公共施設の電気を 再生可能エネルギー100%に！

高津区役所、橘出張所、高津市民館橘分館、高津図書館では、再生可能エネルギー100%の電気を使用しています。施設内のLED化を進めて省エネに取り組んでいます。



H₂ 駅でも水素エネルギーを 活用しています

JRの「エコステ」モデル駅である武蔵溝ノ口駅では自立型水素エネルギーシステムを導入し、駅舎の屋根に設置した太陽光パネルの電力から水素を製造してタンクに補充しています。補充した水素を利用して発電した電気を、夜間や災害時に活用しています。



水素関連施設VR

マイボトルを持ち歩こう

マイボトルの利用促進のため、高津区役所などに給水スポットが設置されています。マイボトルを活用することで、ペットボトルの消費を減らし、お財布にも優しくエコに取り組みます。



シェアリング サービスが 広がっています

多くの利用者で道具を「シェア」するサービスは、無駄づかいの防止やごみを減らすことにつながります。

エコな移動手段であるシェアサイクルや、急な雨の日に助かる傘のシェアサービスなどが広がっています。



イベントや動画などで 情報発信中！

イベント、HPや動画などで、事業者・団体の脱炭素アクションをPRしています。高津区内の子どもたちが「キッズYouTuber」となって、企業・団体の取組を紹介する動画も作りました。



イベントや情報や動画をチェック！

川崎市地球温暖化 防止活動推進センター

マルイファミリー溝口11階を拠点に、地球温暖化に関する相談窓口、普及啓発、情報交流・発信を行っていくとともに、市民・事業者の方々は地球温暖化や脱炭素の活動に取り組んでいます。



詳しくはこちら

駅前で木質化を進めています

地球温暖化防止等を目的に国産木材の利用促進に取り組んでおり、その一環として、武蔵溝ノ口駅前南北自由通路に柱・窓面のルーバーやベンチを設置し木質化しました。併せて、太陽光発電シートを設置し、発電した電力を照明の一部に使用しています。また、音楽・文化芸術と街が調和するモデルケースの創出にチャレンジする「ここから未来プロジェクト準備会」が木の温もりが感じられるステージを設置しました。



TOPICS

川崎市地球温暖化防止活動推進センター [CCかわさき交流コーナー]

市内の地球温暖化防止活動の推進拠点として、平成23(2011)年1月より高津市民館内に「CCかわさき交流コーナー」を開設し、川崎市地球温暖化防止活動推進センター（以下、センター）を設置しています。

本センターでは、地球温暖化に関する相談窓口、普及啓発、情報交流・発信の他にも、市内の地球温暖化防止にかかわる様々な団体（市民活動団体、事業者、行政等）と連携し、地球温暖化防止・脱炭素に向け「地球温暖化対策に係わる普及啓発」、「活動ネットワークの連携強化」、「市民、事業者の取組の参考となるような情報の収集、発信」等の役割を担っています。



環境フォーラム



出前授業



詳しくはこちらをご覧ください ▶▶

<https://www.cckawasaki.jp/kwccca/index.html>



富士通株式会社

市民や事業者に向けて環境配慮型のライフスタイルへの継続した行動変容を促すことを目的に、富士通株式会社が環境行動変容スマホアプリ「Green CarbOn Club（グリーンカーボンクラブ）」を2022年10月末に提供を開始しました。

本アプリ内でのSNS投稿やエコ診断、記事・動画の閲覧等のエコアクションを行うことで、Greenポイントが付与され、素敵な環境配慮グッズをゲットすることができます。また、環境貢献度がスコアで表示され、スコアに応じて本アプリの背景の街並みが華やかに変化します。

詳しくはこちらをご覧ください ▶▶

<https://carbOn-club.com/>



Green CarbOn Club

川崎信用金庫

川崎信用金庫では、金融サービスのご提供を通じて、環境保全に取り組まれる地域の方々のお手伝いや、地域の環境改善のお役に立てるよう、環境に配慮した金融商品をご用意しております。要件を満たす新車の購入または電気自動車用充電設備の購入等に使用できる融資商品「かわしんカーボンゼロ・カーライフローン」や要件を満たす場合の住宅ローン「かわしんカーボンゼロ・住宅ローン」、脱炭素に向けて取組む事業者さま向けの融資商品「かわしんカーボンゼロ・アシスト2050」等、個人・事業者さまに向けた商品をご用意しています。

詳しくはこちらをご覧ください ▶▶

<https://www.kawashin.co.jp/local/kankyou/shouhin.html>



環境出前授業 [DAM 地域での出前授業]

14団体合同の出前授業



▲ 末長小学校主催脱炭素アクションみぞのくち推進会議の企業や各種団体が集結し、合同授業を実施

▶ 自治体と取り組むプログラム「みんなでエネチャレ」はGIGA 端末 タブレットを使ったワークを通じて主体的な省エネ行動を喚起

川崎市では、「環境出前授業」として地域で活動をされている市民団体の方等が学校に出向いて授業を行っています。講義や体験の中から子どもたちに気づきや考えるきっかけを与えてくれ、毎年多くの学校で利用されています。溝口周辺地域でも末長小学校にご協力いただきながら「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の事業者・団体等による出前授業を実施しています。

東京ガス株式会社



日崎工業株式会社



▲ 太陽光を活用した独立電源トレーラーハウス体験

まいばすけっと株式会社

まいばすけっとは出光興産株式会社と連携して、川崎市内の24店舗にオフサイトPPA[®]の仕組みを利用した実質再生可能エネルギー電力を導入しています。2025年2月時点では高津区、宮前区、中原区のまいばすけっと店舗に供給しており、今後導入店舗数拡大を目指しています。地域社会や環境にやさしい店舗づくりに向けてこれからも取り組んでまいります。



※オフサイトPPAとは…Power Purchase Agreement（電力販売契約）の一種で、店舗とは離れた場所（off-site）に設置した太陽光発電設備から系統線を通じて電力や環境価値を調達/供給するモデルです。

株式会社富士通ゼネラル

「持続可能な企業を目指すには社員の健康も大切」として健康経営に注力している株式会社富士通ゼネラルは、「SDGs（健康×脱炭素）から考える未来の街づくり」をテーマに様々な意見交換や交流の機会を提供するものとして、「ワールドカフェ」方式でワークショップを定期的開催しています。大学生や市内の企業、市民団体、川崎市役所や高津区役所の担当者など産学官連携しながら様々なアイデアを自由に話し合い、「脱炭素」を身近に感じてもらえるきっかけ作りをしています。

